

令和3年11月、東京で開催された審査会で六段に合格させていただきました。六段に挑戦することを決意してから三年半が経っておりました。

この合格は、これまで水・金の午前の稽古で御指導いただいた先生方並びに一緒に汗を流したお仲間の皆様のお陰と感謝しております。

この間、先生方からいくつもの御注意をいただいたのですが、いざ審査の板の上に立つと全て頭から飛んでしまう、ということの繰り返しでした。

今回の審査前には、「審査、休んでしまおうかな。」という考えが頭をよぎりました。そんな時、家内が、「おとうさん、なんか焦ってるんじゃない。剣道は、あなたのライフワークなんですよ。」と口にしたのです。かみさんに分かってしまうくらい煮つまっていたんだと思うと同時に、「そうだ。そうだった。」と気持ち楽になるのを感じました。

そこで、今回は先生方からいただいた注意点を意識し、それを今の自分にできる範囲で実践してみようと考えました。

意識した注意点は、

- ・左拳を正中線から外さない。
- ・打ち気を抑えて相手を観察する。
- ・攻めて打つ。
- ・打つときは捨て切る。

・打った後の勢いが必要。

等々の点でした。

審査当日は、自分の出番までこれらの注意点をブツブツ口にしていました。

立会いが終わったときは、合格しただろうとはとても思えませんでした。

「今の自分にできることは出せた。」と充実した気持ちでした。

今回、幸運にも合格させていただきましたが、実力が伴っているとは私自身思っておりません。 段位に恥ずかしくない剣道を目指し、今日からまた精進いたします。

令和3年12月 高木 得二